

2025年11月5日改訂

敬愛短期大学

学習成果等評価の方針(アセスメント・ポリシー)

敬愛短期大学(以下、本学)は、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーの3つ方針に基づき、学生の学習状況および学習成果を把握・検証する方法を定め、学習成果等評価の方針(アセスメント・ポリシー)として公表する。

1 目的

- 1) 本学のディプロマ・ポリシーに定める知識・能力、姿勢・態度、経験等に関する状況および成果の把握・検証を行なう。
- 2) 学習状況および学習成果を把握・検証することにより、学生が学習に主体的に取り組み、成長を実感できるようにする。
- 3) 学習状況および学習成果を把握・検証することにより、教育の改善・向上に取り組み、教育の質を保証する。
- 4) 学習状況および学習成果に関する情報を公開することにより、社会への説明責任を果たす。

2 方法

1) 教育課程レベル(学科)

学習状況および学習成果を教育課程レベルで把握・検証し、教育課程の現状把握やカリキュラムの改善、学習支援や就職支援の改善等に活用する。

(本学は、単科大学のため、機関レベルのアセスメントを兼ねる。)

2) 科目レベル(各授業科目)

学習状況および学習成果を科目レベルで把握・検証し、各授業科目の現状把握や指導法の改善、教材の開発等に活用する。

3) 入学前・入学直後

学習の準備状況や初期の学習度を把握し、教育の実施計画の基礎とする。

4) 在学中

学習の進捗状況や成長を把握し、必要に応じて支援や指導を行う。

5) 卒業時・卒業後

学びの集大成を評価するとともに、卒業後の状況を把握する。

3 評価の枠組み

学習状況および学習成果を把握・検証するための枠組みを以下のとおり定める。

	入学前・入学直後 (アドミッション・ポリシーを満たす人材か)	在学中 (カリキュラム・ポリシーに則って学習が進められているか)	卒業時・卒業後 (ディプロマ・ポリシーを満たす人材か)
教育課程レベル	入学試験(調査書・面接・小論文) プレースメントテスト(国語) 学習成果アンケート 新入生アンケート	出席率 GPA 分布 単位取得率 在籍率(退学率・休学率) 短期大学生調査 学習到達レポート 学習成果アンケート	学習成果到達度レーダーチャート 学習成果アンケート 学位取得率 免許・資格・取得率 専門職就職率 就職先へのアンケート 卒業時満足度
科目レベル	入学前リアクションペーパー ワークシート	成績評価 各実習評価 履修カルテ	履修カルテ

以上